

# 有限会社サブロクカンパニー

業種	製造業	事業所所在地	東京都江東区	資本金	10,000千円
		売上高	～50,000万円	従業員数	36名

 	被承継者（左）	
	遠近 清明	69歳 ※承継時
	承継者（右）	
	遠近 雄大	35歳 ※承継時
事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係	
2020年8月	子ども	
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題	
テレビ局舞台美術の製作及びイベント仕器の製作が主な事業です。	・新商品・新サービスの開発	コロナ禍の影響で売上が全く立たなくなり、現状の従業員の維持や施設の維持が難しい状況となっています。

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 1年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
被承継者が突然の事故により長期入院することになり、会社の内容を被承継者しか知らないことが多く、事業の継承を進めていかないと、大変になると思ひ、事業承継の準備を始めました。	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
		創立34年という歴史を一代で築き上げた被承継者から代表を引き継ぐ重圧、また、36名の従業員に対して承継者として認めてもらえるか不安でした。




**これに一番苦労した！**

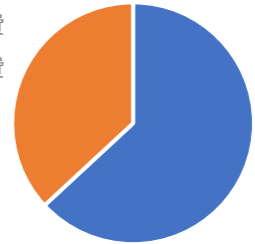
会社の経営が厳しくなる中、どの工場を閉鎖するのか、従業員の維持するために、どのようなことを行っていかを決定することが難しく苦労しました。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
税理士・税理士法人	事業承継にあたり節税対策について、相談をしていました。そんな中、この事業承継補助金についてもご紹介いただいた。
いつから相談？	
承継実行の 半年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

## 経営革新等に係る取組の標題

# BtoCによる販路拡大及び新木場工場の有効活用

経営革新等に係る取組の内容	その他の新たな事業活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>●当社は、舞台美術製作業及びイベント仕器作成を主な事業として行っており、本社の新木場工場の他に松江工場及び八王子工場で製造を行っていましたが、コロナ禍の影響で事業規模の縮小を行い、松江工場の閉鎖を行った。そのため、資産を有効活用するため、新木場工場2階の空きスペースを改装してDIYレンタルスペースとして貸し出す新規事業を計画した。</li> <li>●そこで、本補助金を活用して、閉鎖する松江工場の原状回復工事と、新木場工場2階をレンタルスペースとして貸し出すための内装工事やトイレ、エアコン等の設置工事を行った。主に、豊洲近辺に在住する家族層をターゲットとしたDIYレンタルスペースでは、毎日10時から午後6時の間で手ぶらで参加できるワークショップやワークスペースの貸し出しを行っていく予定である。</li> <li>●これにより、地域の人々に当社の認知拡大、知名度を向上させてBtoCの販路拡大を目指す。</li> </ul>	
  	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
新木場や豊洲の家族に対して、舞台美術等のノウハウを活かしたDIY体験を提供することで、地域の子供達の教育に貢献できればと考えております。絵画や図工といった芸術の才能を育めるような教室みたいになればと考えております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 設備費</li> <li>■ 廃業費</li> </ul> 
	経費の主な使い道
	設備費：エアコン、トイレ設備購入費等 廃業費：松江工場閉鎖に伴う原状回復工事費

認定経営革新等支援機関の名称：エヌ・ビー・シー税理士法人			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

制度の説明から応募時の書類整備のサポートを受けました。また補助金決定通知を受けた後は、補助事業の実施に際し、その後も資産取得時の会計処理や、資産計上についてなど、いろいろな面でサポートして頂きました。

今後に向けて～次の目標	
2020年から2023年に向けて	既存事業と新規事業の両立こそが経営基盤を強固にし、コロナ等の出来事があっても揺るがない事業として確立していけると信じています。そのためにもまず、新規事業の売上を既存事業の10%を目指し3年後までに36%アップを目標にします。
売上高	36 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
会社の経営はまだ若すぎるから難しいのではないかと感じておりましたが、息子も自分が思ったより良く頑張っていると思います。また、若い感性で、今の時世、流行にあったことをアイデアで会社を良くしているのを実感します。自分の子供が若すぎと思っいる方は、是非、経営の仕事を少しずつ任せてみて下さい。自分が思っているよりずっと大人ですよ。事業承継も徐々にすすめていくといいと思います。	会社の経営は、やってみて気付くことが多いと思います。事業承継にあたり何故被承継者がこのような手続きを行っていたのか色々な面で感じました。経営者になって、自分の意思決定が直ぐに行動に移せるのは中小企業のいい面だと思います。自分のやりたいことや新規事業案等があれば、事業承継補助金制度等を活用して、承継者として早めに承継して経営に携わっていくことは、会社にとってもいいことだと思います。